

一斉学習

児童生徒発表型

和歌山県和歌山市立有功東小学校
福井規之

実践タイトル

児童の絵や実物を拡大提示し 視点の集中

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

電子黒板

・大きく映し出すことで、児童の視点を集中させ、細かなところにも気付くことができるようにする。

実物

・児童自身が描いた絵や、飼っているザリガニを提示しながら発表させることで、発表や説明をくわしくすることができるようにする。

参考にしてほしいポイント

- ・児童の絵を提示するときは、特に説明したい部分を拡大提示して、視点を集中させる。
- ・実物投影機でザリガニを提示するときには、動いている動画を使って考えたり、フリーズ機能を活用して、静止画で発見や気付きを出させる機会も持つ。
- ・電子黒板も活用するが、適宜実際に実物を観察したり触ったりする時間も設ける。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 5	・これまでザリガニを捕りに行ったり、飼育したりしてきたことを振り返る。	
展開 10 35	・自分が見つけたザリガニの秘密を、自分が描いた絵やザリガニを見せながら、みんなに紹介する。	・電子黒板、実物投影機 ・児童がザリガニを観察して描いた絵(写真1) ・児童が飼育しているザリガニの動画(写真2)
まとめ 35 45	・みんなから聞いたザリガニの秘密を、自分のザリガニを見て確かめる。	



写真1: 実物投影機を通して電子黒板に映し出した絵を使って自分の発見したことを説明



写真2: 実物投影機を通して電子黒板に映し出したザリガニを指し示しながら説明

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・発表する児童の絵やザリガニを拡大提示したことで、他の児童が画面に集中しながら説明を聞くことができた。
- ・発表する児童も、画面を見ながら発見したことや疑問に思ったことを指し示しながら分かりやすく説明することができた。

活用効果

評価の観点	・身近な環境や自分についての気付き	具体的変容	・電子黒板を活用して発表することで、多様な児童の発見を、みんなで一斉に確認しながら考えることができた。
-------	-------------------	-------	---

実践の手応え

- ・日々のザリガニの観察記録をしたワークシートや、実物のザリガニを拡大提示することで、児童からは、多くの気付きや感動が生まれ、新たな発見をすることができたとともに、ザリガニの特徴について考えることができた。